

和合



2022年11月 発行

和合せいれの里 和合愛光園
〒433-8125 浜松市中区和合町555番地
TEL 053-478-0800 FAX 053-476-6511

せいれの里だより

魚ついで狙うは大物!

勇闘に戦うのじゃー!

2022/10/1・2

和合せいれの里まつり

益おどいをしたよ!

何が当たるかなー!

スタンプラリーに挑戦!

敬老会

9/19 (月) は敬老の日。
和合愛光園にて敬老会を開催しました。
職員からご利用者の皆様へのメッセージカードをお渡しさせていただくことに加え、ご長寿祝い
の表彰、敬老の日まつわるクイズ大会、職員
が立てた出来立てのお抹茶とおやつの練り切り
を提供させていただきました。

表彰では名前を呼ばれると大きな声でお返事され、たくさんの拍手の中、
凛とした表情で表彰状を受け取られておられました。
クイズ大会では、正解されるとガッツポーズをして喜ばれる方もおられました。
「お抹茶やおやつの練り切りもとても美味しい。」と好評を頂くことができました。
ゆったりとした時間の中で、職員からご利用者の方々へお祝いと日々の感謝の気持ちを伝えることができる
機会となり、皆様終始とても良い表情をされていました。



地域包括支援センター和合

地域包括支援センター和合は高齢者の総合相談窓口として浜松市から委託された公的な機関です。当センターは住吉・和合・和合北・富塚地域を担当しています。主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師等のスタッフが他の関係機関と協力しながら、高齢者本人やその家族等から寄せられる様々な相談や悩みに応じ支援を行います。様々な活動の中でも認知症の方への支援に重点をおき活動しています。平成30年度より、地域住民の方と共に「徘徊高齢者早期発見訓練」を実施し、「浜松市オレンジシール・オレンジメール（徘徊高齢者早期発見事業）」の周知活動を図るとともに、地域の気配りな人への見守りや相談を頂けるようなネットワーク作りを行っています。認知症の方への理解を深めて頂く「認知症サポーター養成講座」も開催しています。興味がある方はぜひお問い合わせください。



障害者支援施設 「ワイワイにぎやかな皆の居場所」 生活介護第2単位(あすなろ)

あすなろは障害者総合支援法に基づく生活介護事業所です。生活介護とは食事や排せつといった日常生活の支援、生活上必要な機能維持のためのリハビリ、レクリエーションや趣味活動、仲間作りなど様々な目的を持った方々が来られる通所サービスです。
ボウリングやポッチャなどの身体を使ったレクリエーションや陶芸などの創作活動、書道や季節のイベントや装飾作り、テーブルゲーム、脳トレなど、ご利用者の状態に合わせた活動を日々行っております。また理学療法士の指導のもと、自宅での生活に必要な機能の維持を目的としたリハビリ支援も実施しています。
人生の長い期間を過ごされる生活介護の場においてお一人おひとりの意思を尊重し、それぞれの居場所となる様、これからも取り組んでまいります。



訪問看護ステーション住吉

「私たちは、助けを必要とするいかなる人にも手を差し伸べ、感謝と謙虚さを忘れず、訪問看護を通して地域に貢献します。」を浜松地区訪問看護の理念とし、ご利用者が住み慣れた地域で、その方が望む暮らしができるようにと、訪問看護のサービスを提供しています。ご利用者の年齢も生まれたばかりの赤ちゃんから100歳を迎える方までと年幅広く、体調相談、薬の相談、入浴のお手伝い、病院の看護師が行う医療処置、リハビリなど様々なケアを実施しております。
また、今年4月に西区馬郡町に事務所のサテライトを設置し、西区だけでなく、湖西市も訪問エリアとしました。体調・病気など不安なことがあししたら、相談にも乗ることができます。いつでも声をかけていただければ嬉しく思います。



聖隷トライサポート和合

トライサポート和合はリハビリ特化型のデイサービスとしてリハビリ専門職による個別運動プログラムを実施しながらご利用者一人ひとりの「自分らしく」を大切にサポートを行っています。
昨年度より開始した取り組みとして「セミ・パーソナル・トレーニング」活動を多く増やすようになりました。3~5名程度の少人数で動画を見ながらの脳トレーニングや体操を行うことで利用者さま同士の交流の機会が生まれ、一人で行うトレーニングよりも運動量が増やせる効果もあり、参加したいと希望される利用者さまが増えています。
今年度は1日2~4グループに増やし、毎月提供する健康講話の内容も充実させながら多くの方に参加いただけるようにしています。



聖隷ケアプランセンター和

聖隷ケアプランセンター和では要介護状態の方が住み慣れた地域でご自分らしく望む暮らしが送れるように相談対応、支援をしています。今年度はACP（人生の最終段階における意思決定支援）への取り組みを行っています。スタッフそれぞれが研修に参加したり、浜松市で作成した「人生会議手帳」を地域の方たちにご案内するなどの活動をしています。
人生100年時代と言われている今、ゆたかなシニアライフを送る時間が長くなってきました。利用者様それぞれが、自分らしく生き納得いく最期を迎えるための準備としてケアマネジャーがどう支援できるか活動を通して考えたいと思っています。取り組みの結果は和合せいれの里学会にて発表しようと準備を進めているところです。





新人・異動 職員紹介

今まで貰った(あげた)クリスマスプレゼントで、一番印象に残っているものと、そのエピソードを教えてください!



NEW



現在中学生になる息子が3歳の頃サンタさんにリクエストしたプレゼントは「大好きなからあげとプチトマトが入ったお弁当♡」でした!

訪問看護
ステーション住吉 **井上 聡子**

NEW



小学生の頃、両親がくれるクリスマスプレゼントはなぜか毎年ハサミでした。クリスマスが近づくと家にハサミがたくさんあったことを思い出します。

訪問看護
ステーション住吉 **竹内 佐織**

NEW



小学生の頃、サンタクローズにももらった大きなうさぎのぬいぐるみは飛び上がりながら喜んだ記憶があります。

訪問看護
ステーション住吉 **大曲 志帆**

NEW



初めて貰ったお給料で父へ誕生日プレゼントを渡せなかったので、クリスマスにお財布をプレゼントしました。

和合愛光園1号館 **山下 玲奈**

NEW



子供の頃に買ったゲームソフトです。朝起きると、きれいにラッピングされたプレゼントが枕元に置いてあってとても嬉しかったです。

和合愛光園2号館 **水口 正浩**

NEW



サンタさんからもらったダウンベストです。小学生の時にもらったのですが、今でも愛用しています。

運営管理課 **小野 貴也**

運営管理課 食事サービス室

食事サービス室ではお食事を楽しんでいただけるように、行事食や厨房からのおすすめメニューを提供しています。

9月は9日に重陽の節句、19日に敬老の日の行事食でした。

※重陽の節句※

重陽の節句は五節句の一つで、無病息災や長寿を祈る節句です。別名を『菊の節句』といい、古代中国では菊は邪気払いや長寿の効能のある薬草だと考えられていました。

和合せいれいの里では、ほうれん草の和え物に菊の花びらを加え、明太混ぜご飯、鮭の甘辛ごまだれ、里芋のそぼろ煮、お麩の味噌汁を楽しみました。

♪栄養ひとメモ♪

愛光園の疑問にお答えします!

『Q:お茶にトロミをつけているのはなぜでしょうか?』

飲み込む力が弱くなると、水やお茶などのように流れるスピードが速いものは誤嚥(飲み込んだものが食道ではなく気道に入ってしまうこと)の危険性があります。トロミをつけることで、まとまりやすくゆっくりと口の中やのどを通るため、安全に飲むことができます。

愛光園では3種類のトロミの濃さの中から、ご入居者に適したものを提供しています。

9月9日(金)夕食の行事食

◆重陽の節句メニュー

- 明太混ぜご飯
- 鮭の甘辛ごまだれ
- 里芋のそぼろ煮
- ほうれん草の菊花和え
- お麩の味噌汁

重陽の節句は無病息災や長寿を祈る節句です。起源は中国にあり、古代中国の人々は菊を邪気払いや長寿の効能のある薬草だと考えていたそうです。菊の黄色が映えるようにほうれん草と和え物にしました。お楽しみください。



摂食・嚥下障害の症状によっても適切なとろみの強さは異なりますので、ぜひ医師、歯科医師、管理栄養士等の専門家に相談し、指導を受けることをお勧めします。